

分析事例

- | | |
|--|---------|
| (1) 49歳以下の基幹的農業従事者数の割合
(市区町村別・農業集落別) | P 1 |
| (2) 10年後の地域の姿
(市区町村別・農業集落別) | P 2 ~ 3 |
| (3) 有機農業に取り組んでいる経営体数の割合
(農業集落別) | P 4 |
| (4) 1経営体あたり経営耕地面積の推移
(農業集落別) | P 5 |
| (5) 農産物販売金額1,000万円以上の経営体数割合
と主要部門 (市区町村別・農業集落別) | P 6 ~ 7 |
| (6) 後継者を確保している経営体の状況
(農業集落別) | P 8 |

(分析事例) 49歳以下の基幹的農業従事者の割合

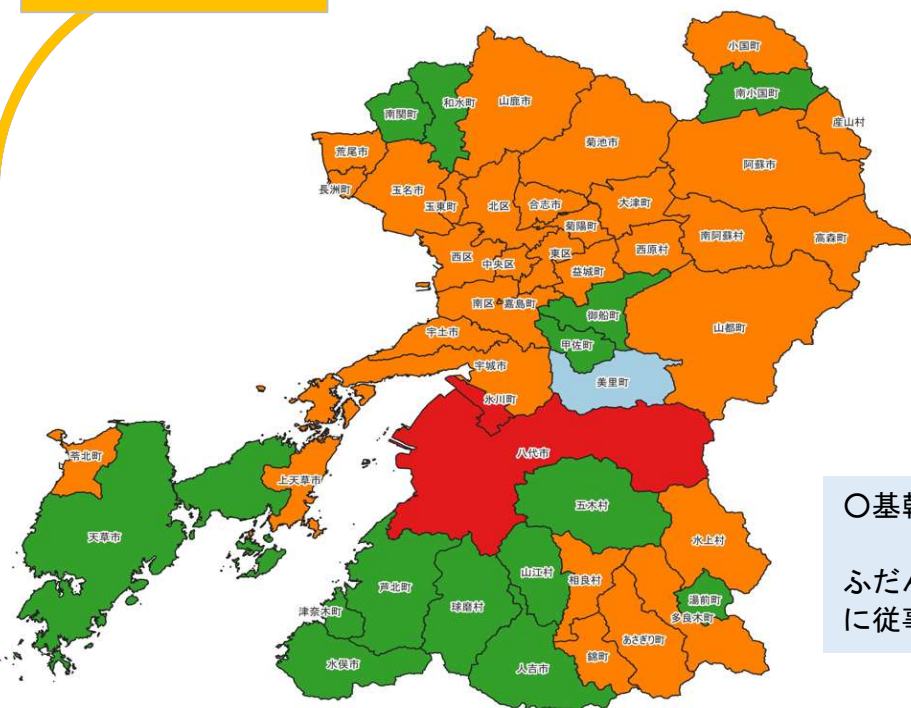
(熊本県)

<分析の視点等>

○基幹的農業従事者のうち49歳以下の割合をみる。

基幹的農業従事者数のうち、49歳以下（男女計）の構成割合を算出し、市区町村別や農業集落別にみることで、それぞれの地域における担い手の状況を明らかにする。

分析事例

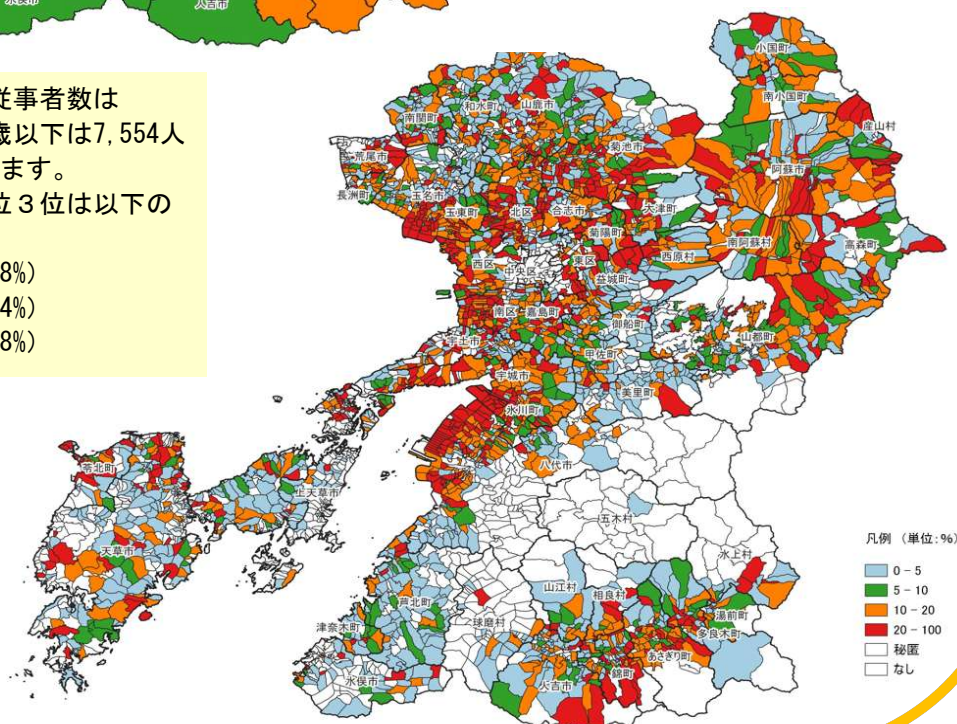


○基幹的農業従事者とは？

ふだん仕事として主に自営農業に従事している者をいう。

熊本県の基幹的農業従事者数は51,827人で、うち49歳以下は7,554人（14.6%）となっています。なお、市町村別の上位3位は以下のとおりです。

- ・ 1位：氷川町（21.8%）
- ・ 2位：八代市（21.4%）
- ・ 3位：産山村（19.8%）



(分析事例) 10年後の地域の姿 (65歳以上の割合の推移)

(熊本県)

<分析の視点等>

○国勢調査結果と将来推計人口から現在と10年後の地域の姿を比較する。

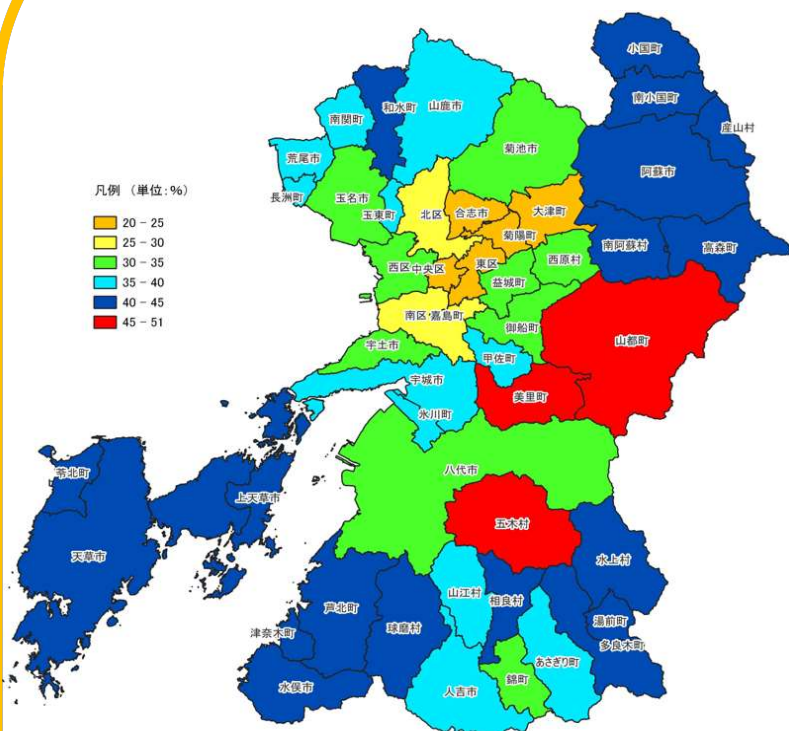
65歳以上の割合を2020年と2030年の10年間で市区町村別に比較し10年後の市区町村の姿を可視化して状況を明らかにすることで、地域活性化への施策に活用する。

分析事例

2020年



2030年

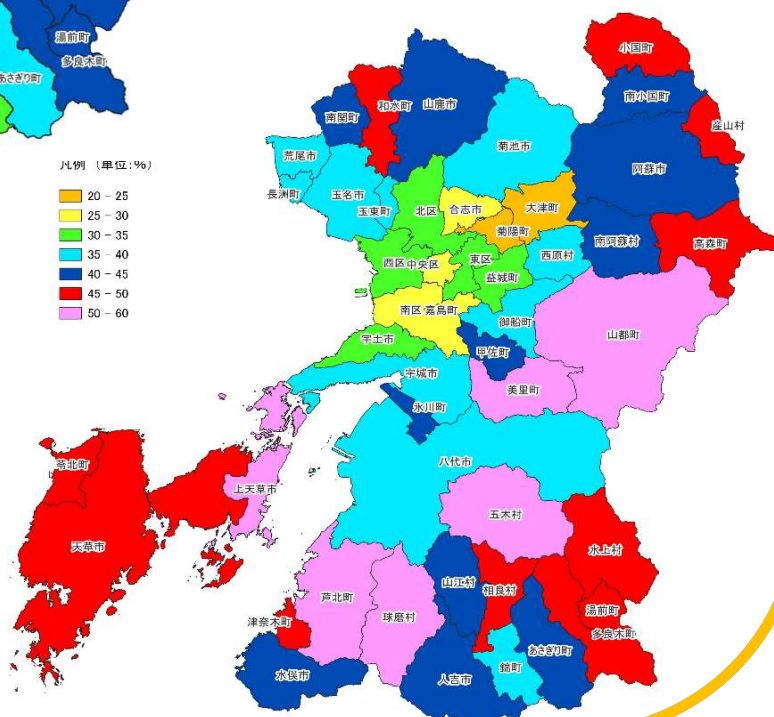


凡例 (単位: %)

- 20 - 25
- 25 - 30
- 30 - 35
- 35 - 40
- 40 - 45
- 45 - 50
- 50 - 60

65歳以上の割合が高い市区町村
(上位3位・2030年)

- (1) 山都町 (58.96%)
- (2) 五木村 (55.39%)
- (3) 美里町 (53.59%)



出典：令和2年国勢調査（男女・年齢別人口）
将来推計人口（2030年）

(分析事例) 10年後の地域の姿 (総人口と65歳以上の推移)

(熊本県)

<分析の視点等>

○国勢調査結果と将来推計人口から現在と10年後の地域の姿を比較する。

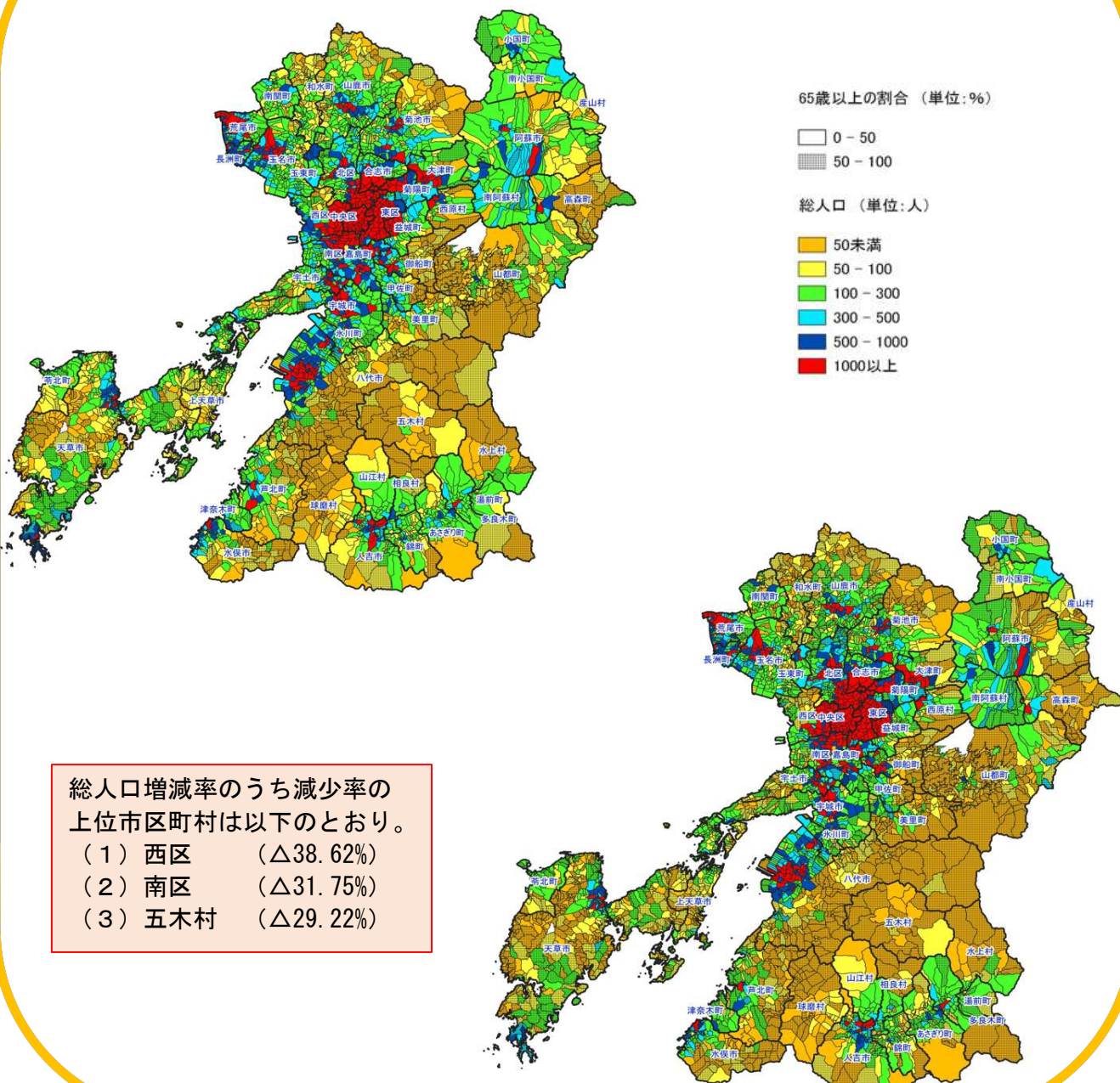
人口分布と65歳以上の割合を2020年と2030年の10年間で農業集落別に比較し10年後の農業集落の姿を可視化して状況を明らかにすることで、地域活性化への施策に活用する。

分析事例

2020年



2030年



(分析事例) 有機農業に取り組んでいる経営体数の割合

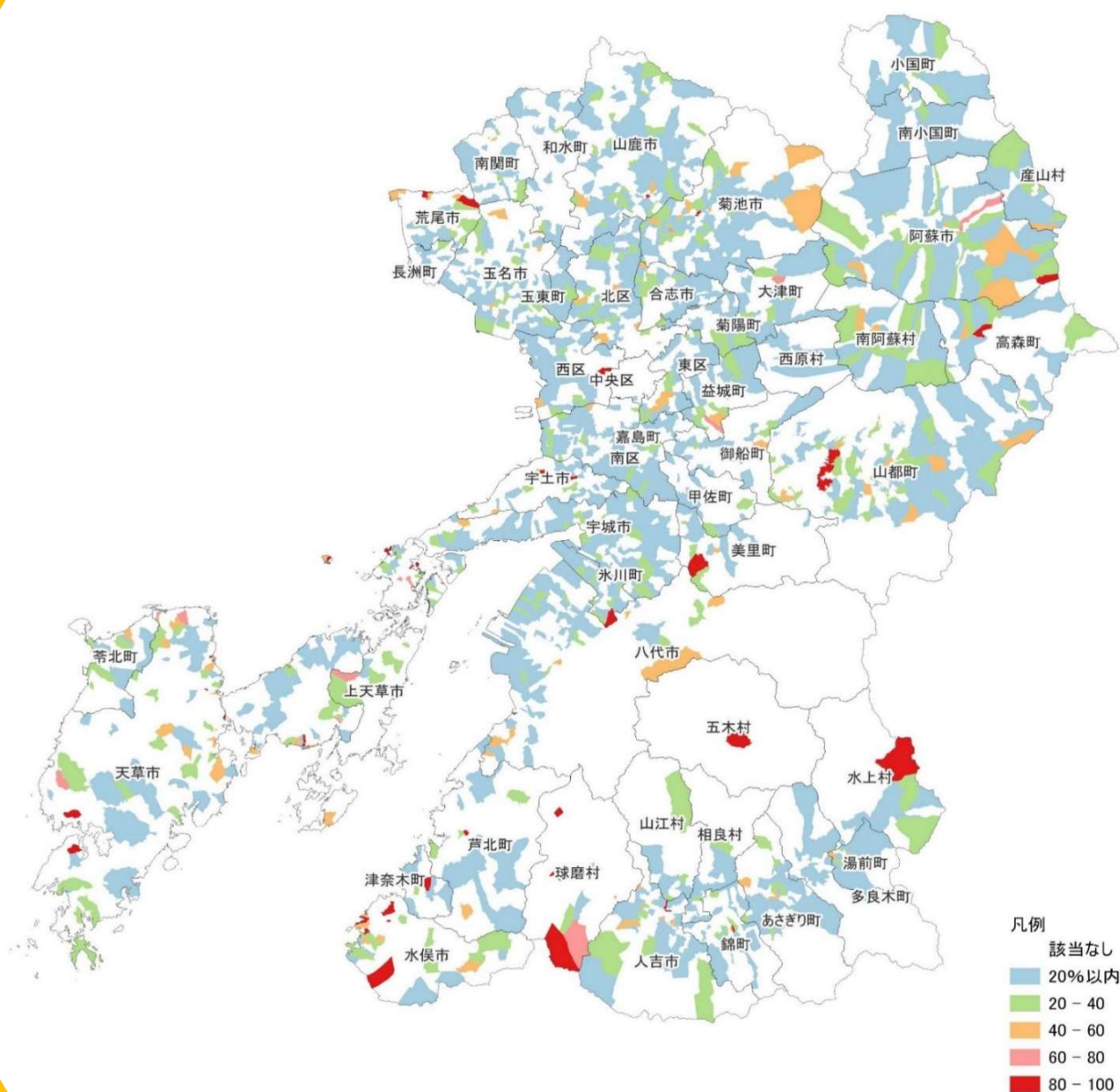
(熊本県)

<分析の視点等>

○有機農業に取り組んでいる経営体数の割合をみる。

農業経営体のうち有機農業に取り組んでいる経営体の取組み割合を農業集落別に把握し、「みどりの食料システム戦略」等の施策推進に向けた現場の状況を明らかにする。

分析事例



(分析事例) 1経営体当たり経営耕地面積の推移

(熊本県)

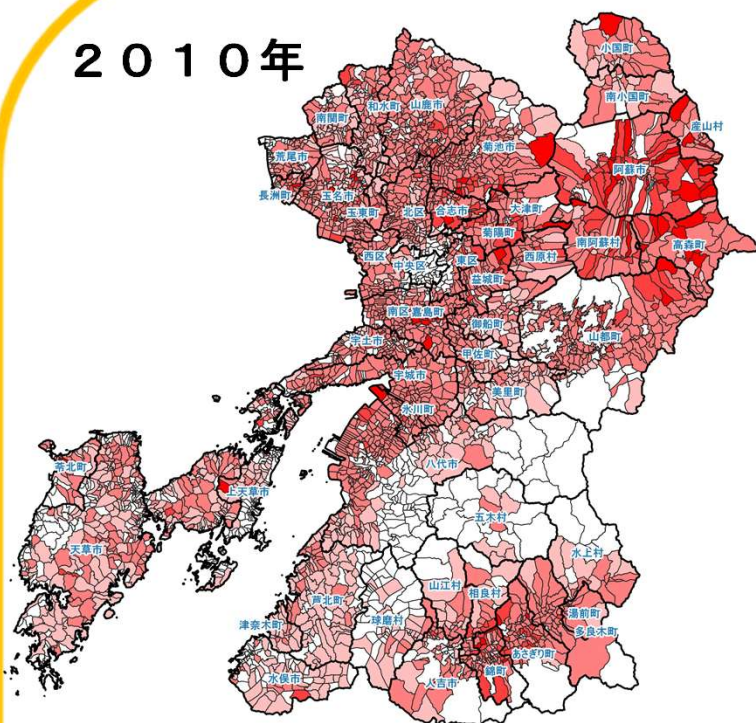
<分析の視点等>

○農業経営体の経営耕地面積の推移をみる。

1 農業経営体当たりの経営耕地面積について、2010年と2020年の10年間を農業集落別に比較し、経営耕地面積の変化と農業経営体への農地集積の状況を明らかにする。

分析事例

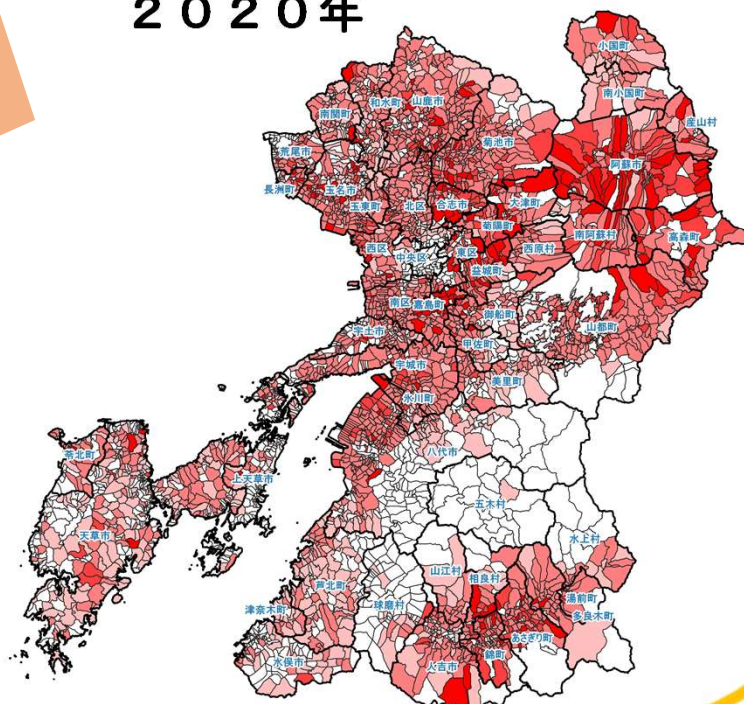
2010年



1経営体当たり経営耕地面積（熊本県）



2020年



1農業経営体当たりの経営耕地面積

- 経営耕地なし
- 1ha未満
- 1～3
- 3～5
- 5ha以上

（分析事例）農産物販売金額1,000万円以上の経営体数割合と主要部門

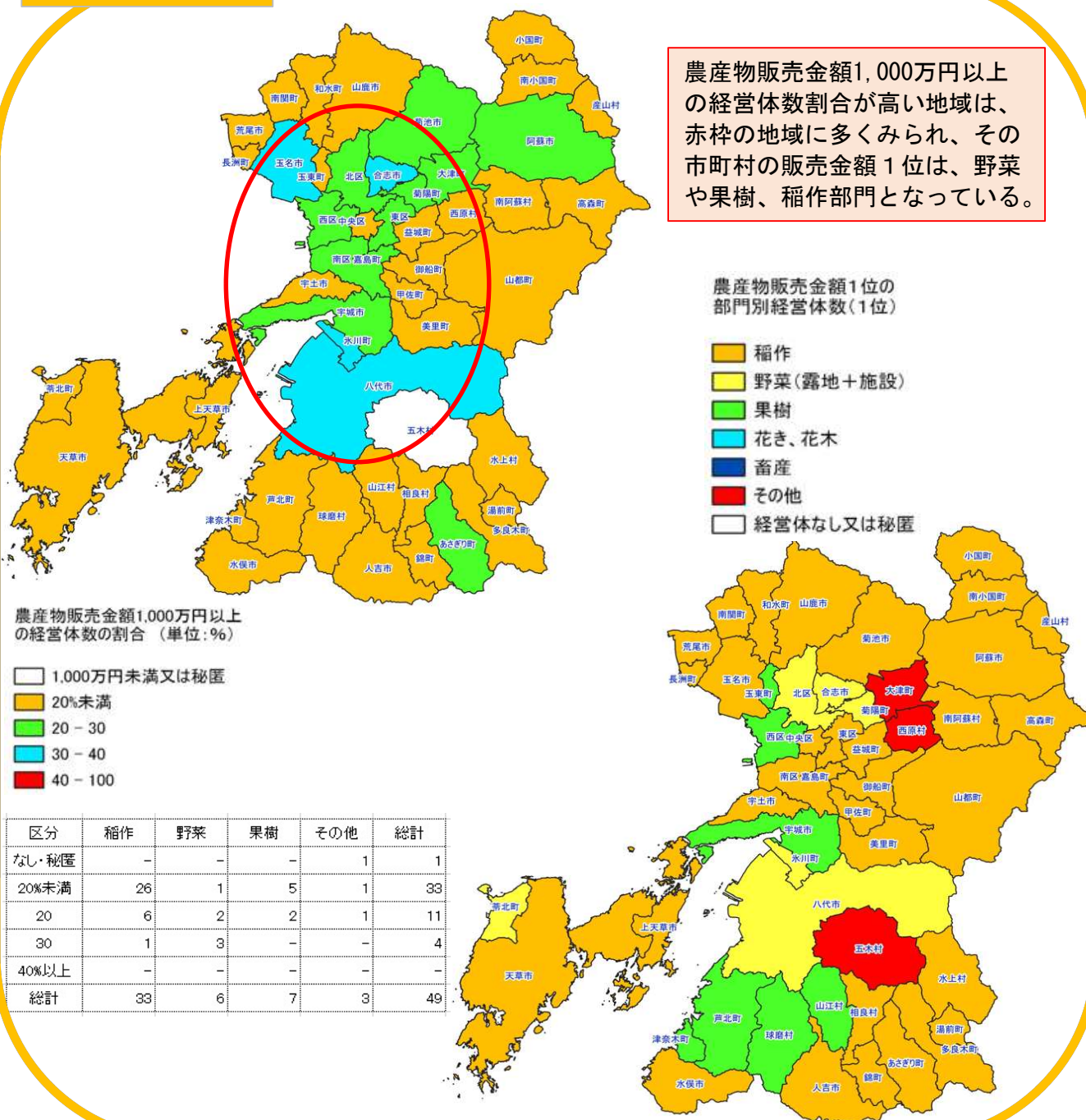
（熊本県）

＜分析の視点等＞

○農産物販売金額1,000万円以上の経営体数割合と販売金額1位の部門別経営体数をみる。

農産物販売金額が1,000万円以上の農業経営体数の割合と農産物販売金額1位の部門を市町村別にみることにより、地域で作付けされている主要な作目と販売金額の関係を明らかにする。

分析事例



(分析事例) 農産物販売金額1,000万円以上の経営体数割合と主要部門

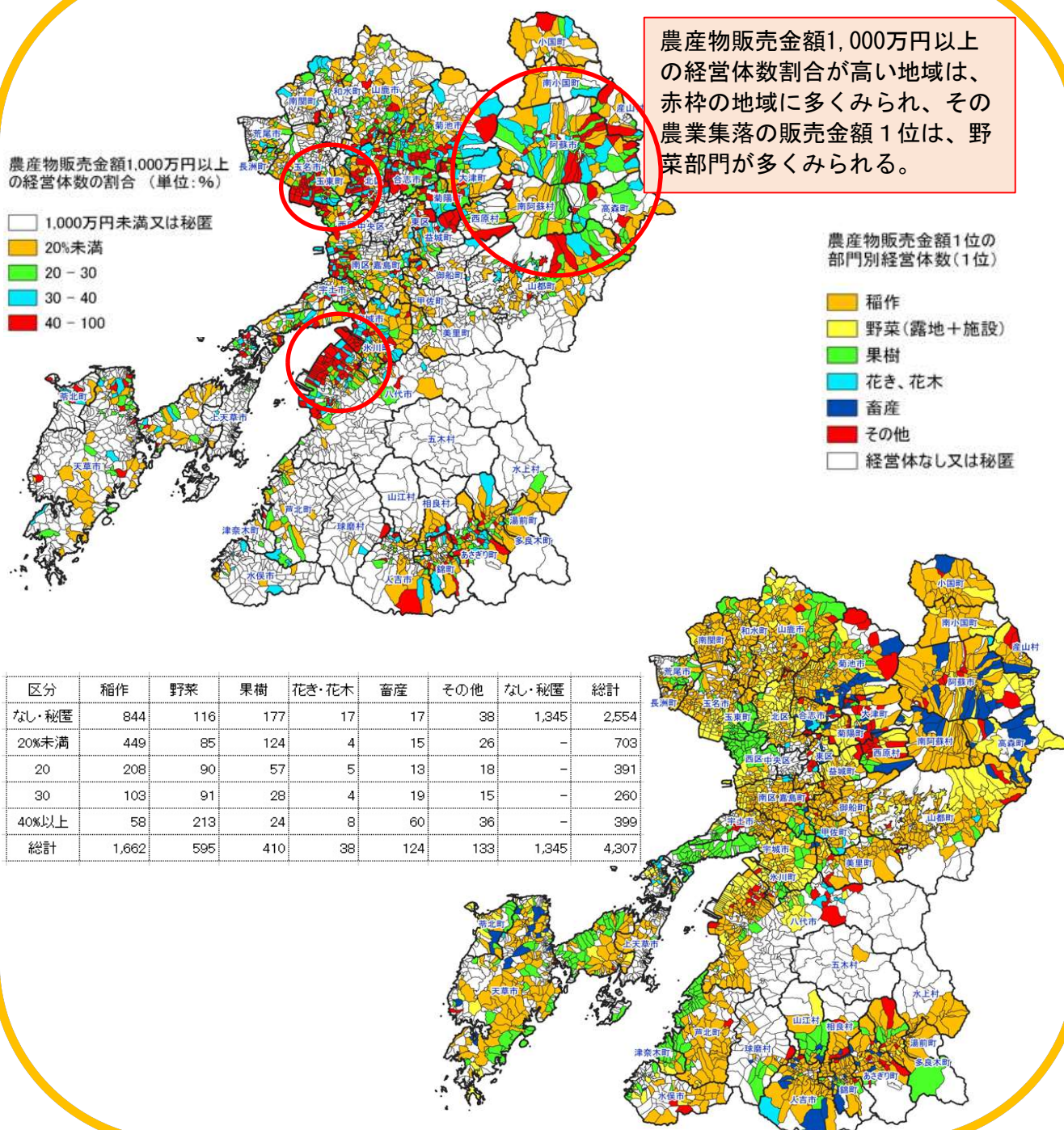
(熊本県)

<分析の視点等>

○農産物販売金額1,000万円以上の経営体数割合と販売金額1位の部門別経営体数をみる。

農産物販売金額が1,000万円以上の農業経営体数の割合と農産物販売金額1位の部門を農業集落別にみることにより、地域で作付けされている主要な作目と販売金額の関係を明らかにする。

分析事例



（分析事例） 後継者を確保している経営体の状況

（熊本県）

<分析の視点等>

○後継者の確保状況を農業集落別にみる。

後継者を確保している経営体数の割合を地図上で色分けして確保状況をより理解しやすく工夫。

分析事例

後継者を確保している経営体数割合

- 60%以上
- 50%～60%
- 40%～50%
- 30%～40%
- 20%～30%
- 20%未満
- 農業経営体がない又は秘匿

